

経営比較分析表（令和6年度決算）

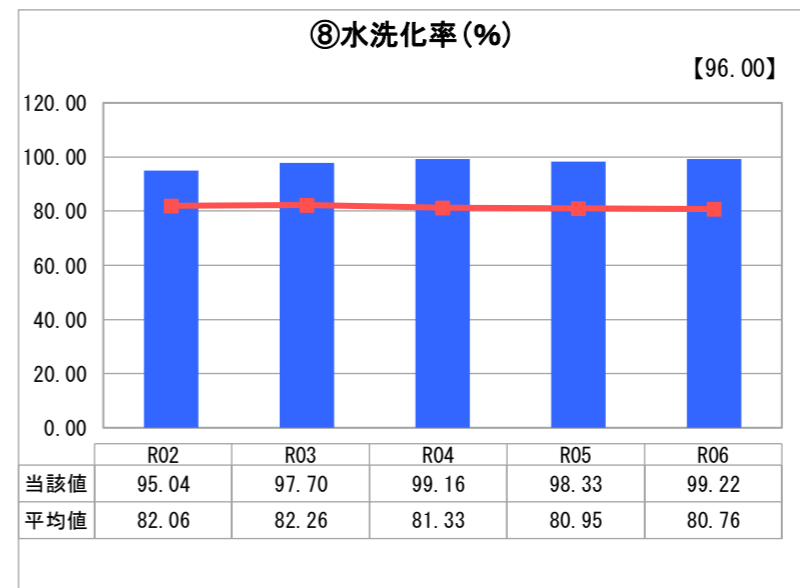
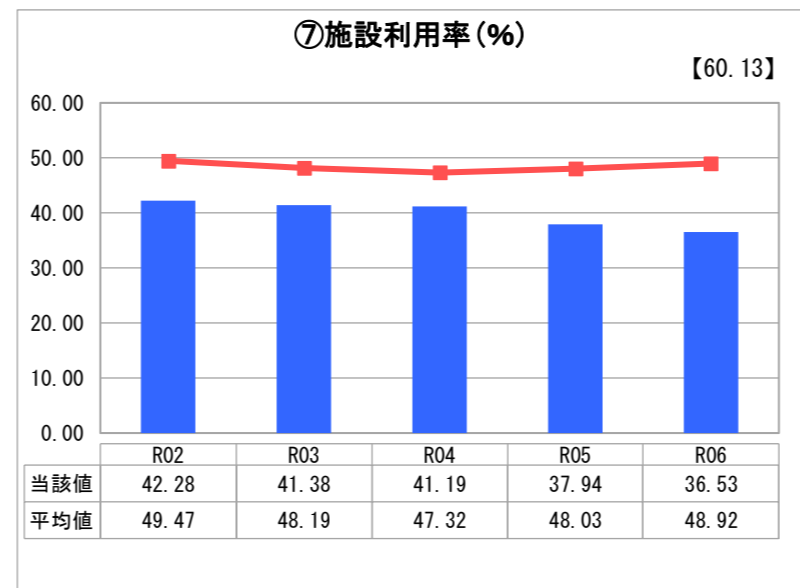
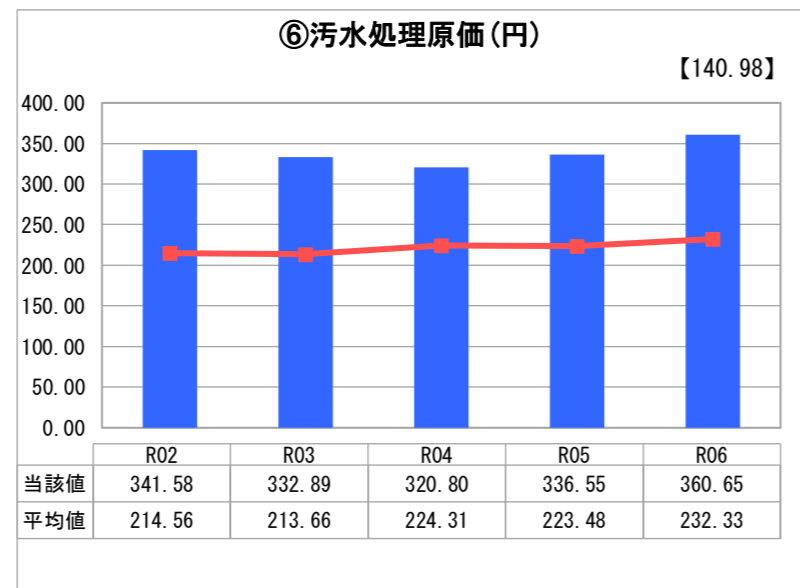
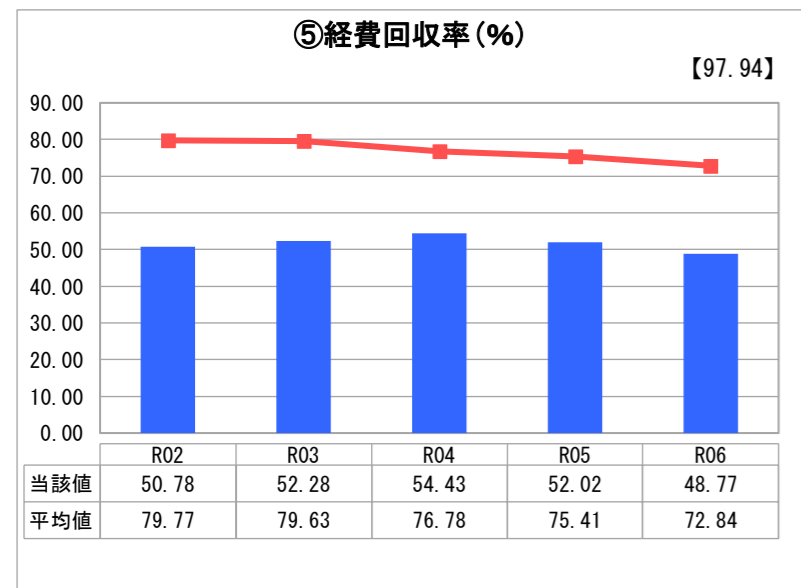
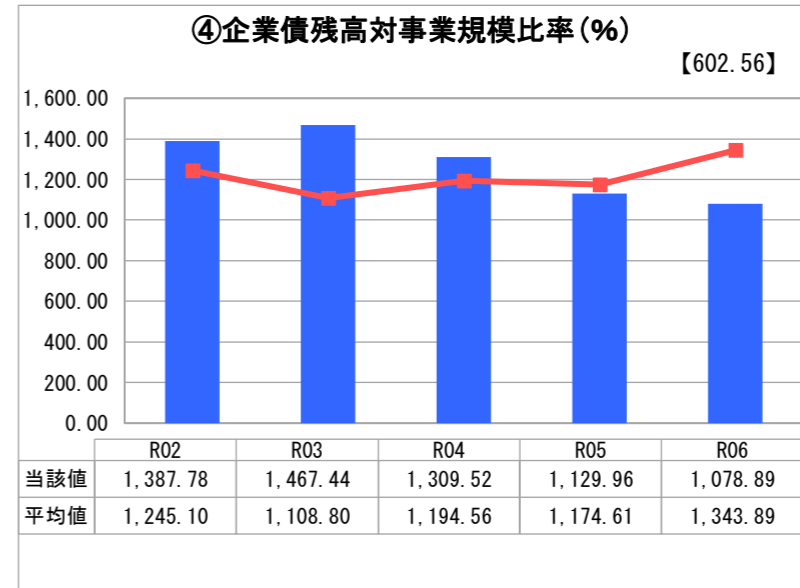
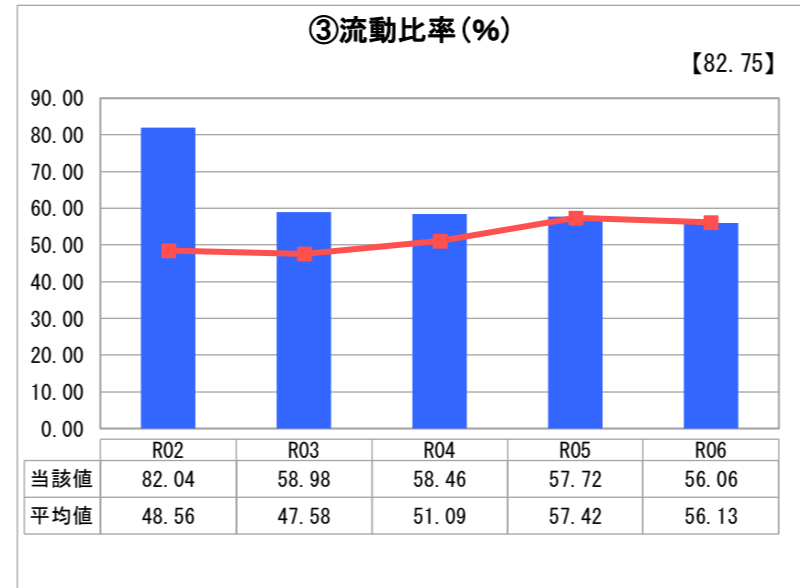
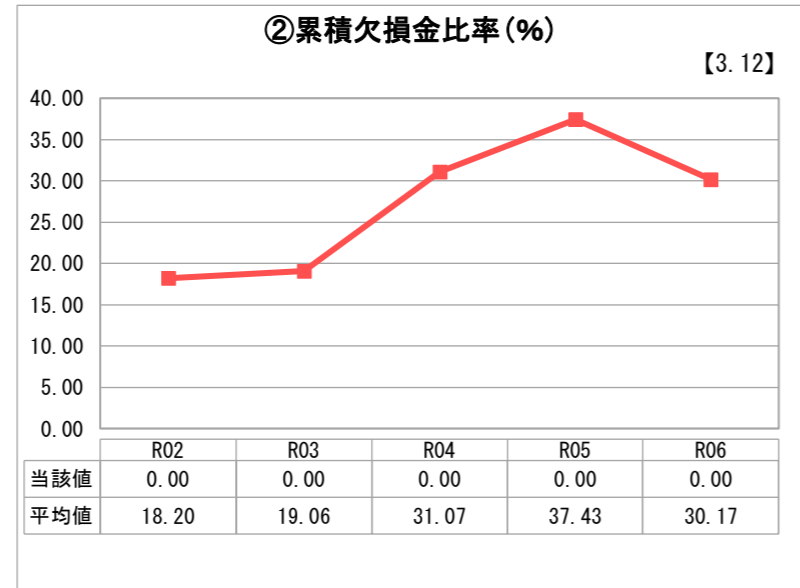
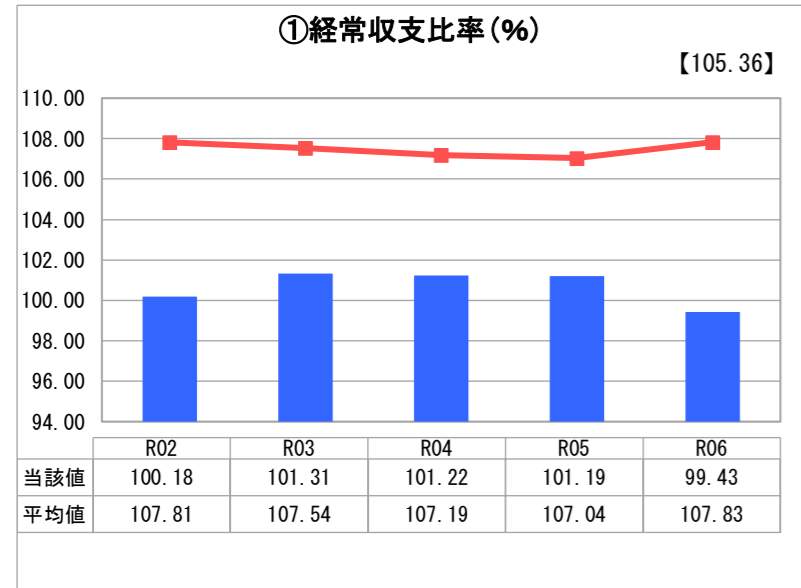
北海道 森町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.87	49.66	98.45	3,400

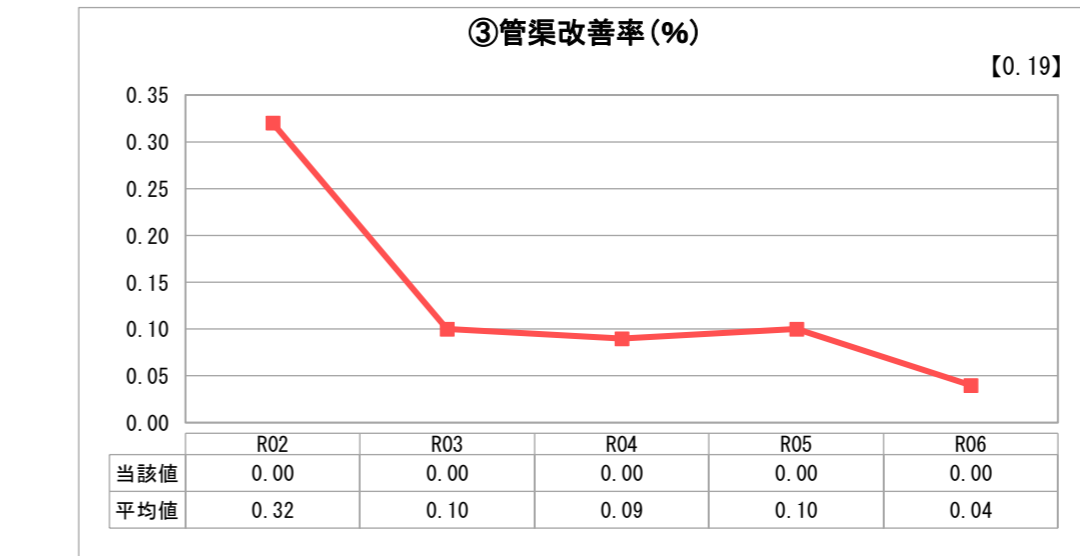
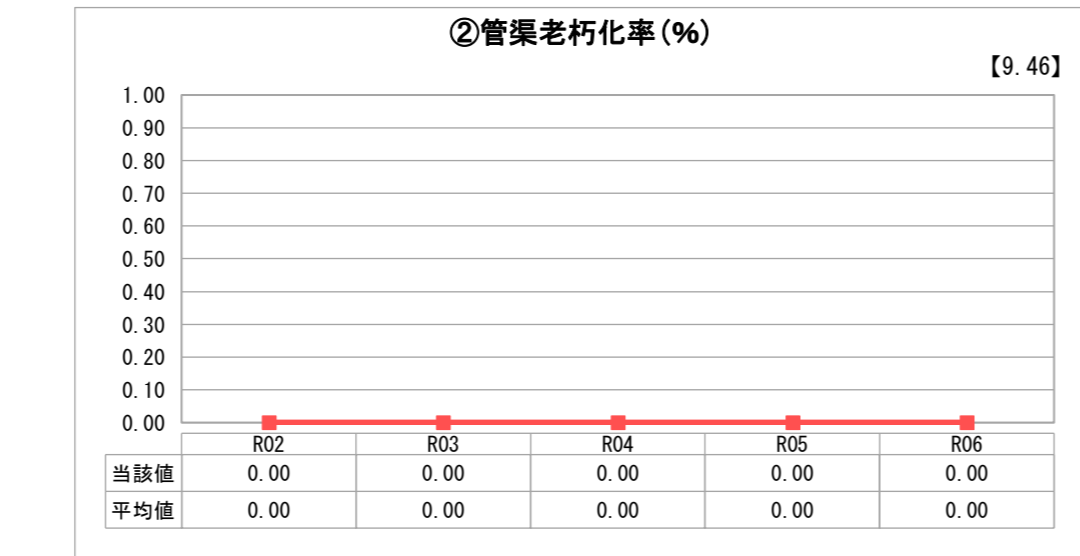
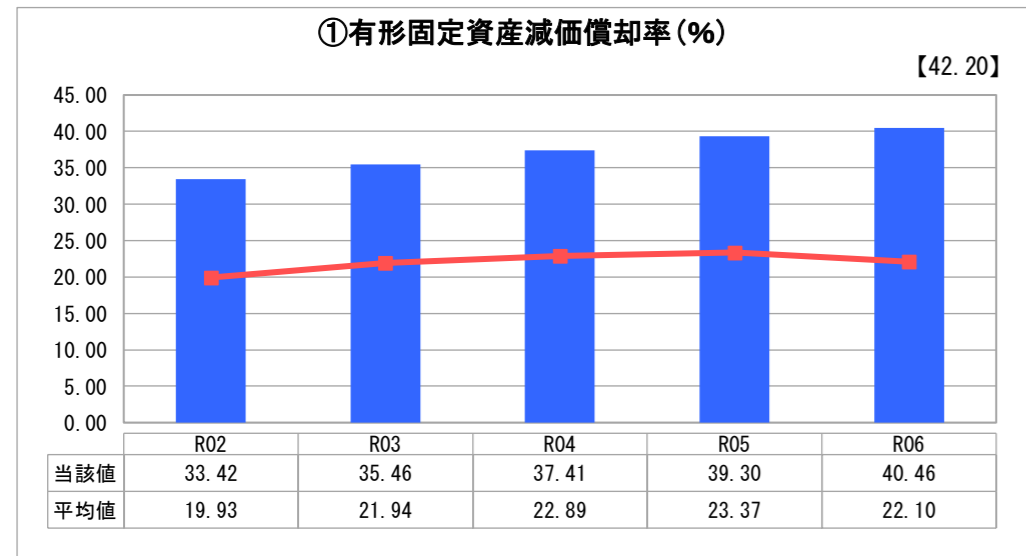
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,582	368.79	36.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,692	4.73	1,414.80

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、類似団体の平均値を下回っており、単年度収支でも100%を下回り、収支のバランスが不良な状況が示されている。

② 累積欠損金比率は、0%となっており、経営改善が図られている。

③ 流動比率は、類似団体の平均値と同等で良好な状況が示されている。

④ 企業債残高対事業規模比率は、前年に比べ減少しており、概ね適切な事業投資が図られている。

⑤ 経費回収率は、前年に比べ減少し、類似団体の平均値を下回っており、汚水処理費や維持管理費の低減を図りたい。

⑥ 汚水処理原価は、有収水量に対する処理コストが嵩んでおり、処理方法等の検討に努めていきたい。

⑦ 施設利用率は、地域内の人口・世帯数の減少により、低位で推移し、類似団体の平均値を下回っている。

⑧ 水洗化率は、前年に比べ増加し、類似団体の平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、増加傾向にあり、類似団体の平均値を上回っている。処理施設の供用開始が平成13年度と比較的新しいため、法定耐用年数に至るまで期間があるため、上昇傾向が見込まれる。

② 管渠老朽化率は、法定耐用年数を超える管渠がないため、0%となっている。

③ 管渠改善率は、更新した管渠がないため、0%となっている。

全体総括

下水道経営は、使用料以外の収入に依存している部分が大きいと見込まれるため、接続率の向上や使用料収入の増加を見込んだ対策を図ることが必要である。また、経営の効率化や汚水処理費、維持管理費の削減に努めるとともに、水洗化普及率の向上と有収水量の安定確保を目指した運営が必要と考えられる。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。